

令和6年12月16日

令和6年度 松山歯科衛生士専門学校
学校関係者評価委員会報告書

学校法人松山ビジネスカレッジ 松山歯科衛生士専門学校 学校関係者評価委員会は「令和6年度自己評価」結果を基に、学校関係者評価を行いました。その結果を以下のとおり報告いたします。

1. 令和6年度学校関係者評価委員会

委員 橋本 成人 (一般社団法人愛媛県歯科医師会 会長)
白石 浩人 (愛媛信用金庫 地域事業振興部推進役)
森本 留美 (在校生保護者)
稲田 莉音 (卒業生)

敬称略

教職員 松岡 由紀子 (学校法人松山ビジネスカレッジ 常務理事)
室 利幸 (松山歯科衛生士専門学校 校長)
重信 克也 (学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部長)
清水 綾 (松山歯科衛生士専門学校 副校長)
東田 由美子 (学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部 教務課長)

2. 実施内容

開会、出席者紹介、校長挨拶
自己評価報告 (1) 教育理念・目標
(2) 学校運営
(3) 教育活動
(4) 学修成果
(5) 学生支援
(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務
(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献
質疑応答、意見交換

3. 自己評価報告に関する補足説明

<教育活動>

- ・学校が掲げる理念、人材育成像、将来構想について周知を図りながら、将来歯科衛生士として社会的に担う役割を理解したうえで学生が主体的に学ぶ環境を整える。
- ・令和4年度から導入した新カリキュラムにより、国家試験について全員受験、全員合格を目指し実践的な教育を行っている。

<学修成果>

- ・歯科衛生士が歯科医院等の現場で不足している状況下、歯科衛生士の様々な活躍の場とやりがいについて学ぶ取り組みを行う。
- ・令和3年度国家試験合格率は100%を達成したが、令和4・5年度は100%達成出来ず、今年度は全員合格出来るよう、サポートを継続していく。初任者研修の合格率も100%を目指しており、また今年度初めての受験となったメディカルクラークについても、再受験者も含め受験者100%合格を目指す。

<学生支援>

- ・就職に関しては、早い段階において100%達成している。
- ・卒業後の心配事や不安に対して、個別で相談に応じ、解消できるよう取り組んでいる。また、卒業後のキャリア相談、万が一離職した場合は希望により就職斡旋を行う。

4. 学校関係者評価（意見交換、質疑応答）

（委員からの意見）

- ・教育環境の中で、防災に対する体制は取られているようですが、防災士はいらっしゃいますか。医師会でも取得を推進している。学校でも取得を検討してはどうか。
- ・学納金の設定はどうなっているか。
- ・他県では、志願者が定員に達していない県もあり、愛媛県はうらやましがられている。
- ・コミュニケーション能力、特に高齢者に対応出来る人材を育てて欲しい。

（回答）

- ・現在防災士を取得している者はいない。今後検討していきたい。
- ・物価高騰の折から、県内同様の学校が3校ある中で、他校と比較しながら検討している。本校の場合、現時点で追加の徴収はないが、他校では追加徴収もあると聞いている。収支を透明化しているので、保護者からは解りやすいと言われている。本県には歯科医師会のが修学資金制度があり大変助かっている。
- ・人から指示されてではなく、自ら動けるような人材の育成に努める。コミュニケーション能力も、入学の選考の段階で重視している項目である。

（委員からの意見）

- ・防災対策の中で、救命救急に対する対策はどうしているか。

- ・介護研修ではどのような内容を行っているか。

(回答)

- ・毎年1回は、外部講師を招いて防災講習を実施している。学校で、避難訓練時にAEDの取り扱いの説明も実施している。
- ・訪問診療や病院内での対応も必要な場合もあるので、介護に関するスキルは必須としている。また、国の修得単位にも組み込まれており、口腔ケア以外に、身体介護や食事介護も体験するカリキュラムとなっている。
来院される方の中には、車いす利用されている方への対応も、スキルアップの一環として取り組んでいる。
- ・災害時には避難所での口腔ケアが課題となってくることから、授業にも組み込んで対応している。

(委員からの意見)

- ・姉も卒業生で、その姉を見たり話を聞いたりして、妹も興味を持ってこの学校で学びたいと入学した。オープンキャンパスにも一緒に参加したが、私自身が心を掴まれ、また学校の雰囲気も掴めた。
姉の時は、国家試験の前は心配もしたが、一人一人手厚くフォローをして頂いた。
何の不满もない。
SNSも見ており、実習の様子や子供の様子もわかりやすい。
- ・建物の耐震への取り組みについて教えて欲しい。

(回答)

- ・歯科衛生士は生涯のライセンスであり、自分の武器になる仕事である。
長く地元で働いて欲しい。
国家試験に対しては、1年次から対策にコンスタントに取り組んでいるが、学生のエンジンがかかるのがこの時期からになるので、個別にフォローを続けていきたい。
模試の結果に教師の側も一喜一憂するが、緊張感を持って取り組んでいる。
保護者が熱心な方が多く、入学式・卒業式の参加者も多い。SNSも引き続きご覧下さい。
- ・耐震の基準はクリアしているが、建物の築年数も進んでいるので、都度対応はしている。
非常時の場所の確保等、対策を検討する。

(委員からの意見)

- ・募集の取り組み方はどうなっているか。

(回答)

- ・資料請求した人、オープンキャンパスに参加した人に対してのフォローのため、SNSを作成している。オープンキャンパス参加者の内、受験者が50%超えると驚異的と言われる中、本校は70~80%が受験をしている。

他校との差別化を図るよう努力している。SNS のフォロー数も多い。
高校訪問をして周知をはかり、オープンキャンパスに誘導している。